

2016夏 群馬・伊香保大会 実行委員ニュース Vol. 2

～「今年の夏の大会は、こんな大会にしたいと考えています！」の巻

伊香保大会実行委会

新年度が始まり、慌ただしく動いていたら、あっという間に6月になってしまいました。そんな中でも、クラス子どもたちと授業書でたのしく過ごしています。みなさんは、いかがお過ごしですか。

いよいよ、今年の夏の全国合宿研究大会「群馬・伊香保大会」まであと2ヶ月となりました。チラシでお知らせしたり、WEB ページも開設して、情報を発信させていただいております。このところ、毎日夏の大会のことを考えながら生活しています。【笑顔に会える。あの人と話せる。それが合宿研究会】を合い言葉に、夏の大会で多くの笑顔に会えるように、これからの2ヶ月をたのしく過ごしていきたいと思っています。

5月21日現在、大会への参加申し込みを44名（天坊宿泊28名、他ホテル宿泊16名）、売り場への申し込みを24店、保育・サマースクールへの申し込みをそれぞれ3名ずつ受け付けております。ありがとうございます。実行委員会では、いろいろと検討を重ねながら準備を進めているところです。その中で、すでにご連絡させていただいた内容に記載ミスが見つかったり、変更を決めたことがありますので、先に訂正をさせていただきます。

（実行委員会代表 品川正）

●「保育」の申し込みアドレスに間違いがありました

保育を申し込まれた方から「届きませんよ。何か間違いがあるのではないですか？」と問い合わせをいただき、メールアドレスの間違いに気づきました。研究会ニュース4・5月号に掲載されたアドレスは間違いです（半角数字の「0」が抜けてました）。

間違い：smisato@gmail.com 正しくは：smisato0@gmail.com

なお、WEB ページではすでに訂正させていただいております。もし以前のチラシで申し込まれて、まだ返事が来ていない方がおられましたら、再度、正しいアドレスへ申し込みをお願いします。申し訳ありませんでした。

●外部宿泊者の「売り場出店料」という考え方を取りやめました

前回のニュースでは、「外部宿泊の方が、大会での出店を希望される場合には、別途、1テーブル5百円の集金をお願いしています」と案内させていただきました。実行委員会では当初、参加費の上乗せ料金3千円というのは、「分科会のための使用スペース代」と考えていて、「売り場スペース」のことまで考えていませんでした。ですから、いざ「売り場スペース」が問題になったときに、「テーブル代」という考え方が出てきたのです。

しかしながら、「売り場を盛り上げる視点を大切にしてほしい」というご意見をいただき、考え方を変えることにしました。参加費の上乗せ料金3千円の中に、出店料を含むこととします。テーブル代の集金は行いません。もし、すでに売り場を申し込まれた方で、テーブル数の変更をご希望される場合には、お手数ですが担当までご連絡ください。ご理解のほど、よろしくお願い致します。(売り場担当 峯岸昌弘 mine2sig@hotmail.com)

伊香保大会では「お楽しみ分科会」の開設を提案します！

さて、群馬・伊香保大会では、

【笑顔に会える。あの人と話せる。それが合宿研究会】

というテーマの他にも、

【全国の研究を生で感じることができる、カタログとしての大会】

というコンセプトを提案します。400人規模の人数が一堂に会すことの意義を考えるなら、分科会は「自分の研究は、大衆にとって興味をもってもらえる内容であるのかを試す場」という考え方があってもいいのではないかと、という提案です。そのひとつの具体案として、従来の分科会設定を継承しつつも、全体会の会場を利用した「お楽しみ分科会」というものを開催してみたいと考えているのです。

これは、冬の大会の特徴である、全体会での研究発表のよさを、夏の大会にも用意するというものです。分野を問わず、最新の研究に興味のある人が集まり、「次はどんな分野の研究が聞けるのだろうか？」と、ドキドキワクワクできる分科会です。発表者としても、専門的な少人数の分科会で発表するのとは違って、「自分の研究が大衆に歓迎されるものであるかどうかを試すことができる」というメリットがあります。

多くの方に聞いていただきたい資料や、どこの分科会にも属さない資料などはもちろん、各分科会での発表予定の資料を先にこの分科会で発表してみたり、すでに専門の分科会で発表した資料をもう一度この分科会で発表してみる、という使い方をしてくださるのもいいな、などと考えています(分科会の性質上、多くの人の発表の機会を保障したいので、発表時間には制限をつけたいと考えています。例えば「おひとり20分以内での発表をお願いします」など)。

この分科会を設定することで、少人数の分科会が減るかどうかなどというのは実験してみなければわからないことですが、「資料を検討してもらいたい分科会」は、少人数でも可能な「ナイター」を使ってやっていただくとか、各地で会を開いて興味のある人を募るという方法もあります。多くの方が集まる夏の大会ならではの「研究発表分科会」という意味での「お楽しみ分科会」という提案。みなさんは、どう思われますか。

●ガリ本ダービーについて

すでに告知させていただきましたが、この企画も「カタログとしての大会」を具体化しようとしている案のひとつです。いよいよ、エントリーの申し込みを開始いたします。詳しくは、別紙をご覧ください。なお、前回の告知では、「選ぶ人がいくらかのお金を払うしくみ」を提案させていただきましたが、実行委員会での話し合いの結果、交換時にお金は払わず、従来通り「1冊プレゼントする」という形にさせていただくことになりました。ご了承ください。

お知らせ

●大会参加の申し込みは「伊香保大会のWEBページ」から、お早めどうぞ！

大会の WEB ページから、申し込みフォームをダウンロードすることができます。必要事項を記入の上、早めのお申し込みをお願いします。

伊香保大会 WEBページ : <http://2016kasetu.web.fc2.com/>

早割の×切は、6月18日(土)です。2千円もお得です！もうすぐですので、今のうちに、申し込みを済ませてしまうことをオススメします。よろしくお願ひ致します。

●サマースクール申し込みの方の「お弁当」について

お弁当の申し込みに関してですが、サマースクールを申し込まれる方の場合、2日目のお昼は出先になるので、お弁当を申し込む必要はありません。ご確認ください。

なお、内容は、1日目 人形劇のあかばんつ ものづくり

2日目 グリーン牧場へ遠足 帰ってからの時間があればものづくり

3日目 平林 浩さんの授業(公開予定) などを予定しています。

●大会会場へのアクセスについて

伊香保へのアクセスは、「東京」から新幹線で「高崎」、そこで乗り換えて「渋川」、さらにバスで「伊香保・天坊」へ、という手段が一般的です。しかしながら、他にも「高崎からのバス」、「東京からのバス」など、様々あります。詳しくは、「ホテル天坊」の web ページをご参照ください。(ホテル天坊 WEBページ : <http://www.tenbo.com/access>)

●「心円祭」について

伊香保大会のプレ企画を兼ねて、科学の碑会館と東養寺において、今年も「心円祭」を開催します。6月18・19日です。板倉ご夫妻も参加を申し込まれています。18日のナイターでは、伊香保大会実行委員会も行われます。参加を希望される場合は、受け付け担当まで、至急、ご連絡をお願いします。なお、案内文は、研究会ニュース4・5月号に掲載されています。(心円祭 受付担当 栗原正治 masakuribara@mva.biglobe.ne.jp)